



トピックス

令和6年1月1日、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。～認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ、支えあいながら共生する社会の実現を推進することが目的です～

地域共生社会とは

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会



ほっとあいは、国が目指す「地域共生社会」とほぼ同じ内容の活動を行ってきています。誰もが高齢者となる中で、認知症を「自分事」としてとらえ、どういった社会を創ればよいか、今後も一緒に考えていければと思います。

特定非営利活動法人 ほっとあい 〒989-1241 宮城県柴田郡大河原町字町 279 番地 1
TEL:0224-52-8555 FAX:0224-52-8557 e-mail:hoti@dream.ocn.ne.jp URL:http://www.hoteye.net/

[広報委員] 轡 育子 佐藤 まゆ美 砂沢 登代子 水野 清子 堀江 詠理子

2024年 1月15日発行 No.20

発行 - ほっとあい広報委員会

ほっとあい通信

理事長あいさつ
坂本 一

新年明けましておめでとうございます。震災や台風災害、そして疫病と、振り返ると大きな社会の動揺を伴う出来事に絶えず向かい合う12年間でした。ようやく感染症の流行も下火になり、落ち着いた年末年始を過ごされていることと思います。と、大晦日に綴っていたのも束の間、新年早々に能登で大きな地震災害が発生しました。夜半には絶えず航空機のエンジン音が大河原の夜空にも聞こえました。震災後数カ月の混乱期を彷彿させる音です。現地で被災された方々がこれから迎える苦難に心を痛めながらの新年となりました。ほっとあいも油断することなく様々な備えを改めて確認してまいりましょう。また震災当時、ほっとあいも各地の方々から物心両面にわたる支援や応援をいただき、苦難の多い時期を乗り越えてきました。いただいた恩に応える貢献を、足元を見つめながら考えたいと思います。今年もみなさんと力を合わせ、無事に日々を過ごしてまいりましょう。今年もよろしくお願いいたします。

《介護保険事業》
居宅介護支援
(ケアマネジャー)

◎今年の漢字一文字

花 松島 恵美子
花を楽しむことが大好きです。人生良い日も、良くない日も、花とともに暮らし、一日一日を大事に生きたい。ほっとあいが関わる全ての利用者の方の幸せを願います。

健 遠藤 雅乃
昨年末に体調を崩し、改めて実感しています。今年は心身ともに健やかに過ごせるように心がけたいと思います。

心 轡 育子
仕事面でも私生活でも、感情、意志、思いやりなどの「心」を大切にしていきたいと思っています。

《事務局》
今年の漢字一文字

穩 理事長 坂本 一
何とぞよろしく
お願いします。

食 事務 堀江 詠理子
おいしいものをたくさん
食べて、心も体も元気に
過ごしたいと思っています。